

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に基づいたケアを実践可能なものにするため、3つの理念をケアの目標とする。	①利用者が地域の一員としての尊厳を守る。 ②利用者の意思の尊重。 ③ゆっくり、のんびり待ち、笑顔で寄り添うケア。	・利用者の意向に沿った外出支援 ・利用者の自己選択・自己決定に基づいた、地域活動への参加。 ・職員のペースで動かない(動き出しはご本人から)を徹底する。	12ヶ月
2	2・3	月の食事会・行事後以外の日常的な付き合いが、稀薄である。また、認知症の人への理解や支援方法など地域にむけての発信ができていない。	昨年取り組んできた、町内の方々との交流を今年につなげる。ゆいまーるを、多くの方々知って頂き、立ち寄って頂けるような場所づくりを行う。	・町内の散歩 ・町内会行事への参加 ・地域の高齢者・子供たちとの交流 ・地域の方々を招き、食事会・カフェを開催する。	12ヶ月
3	38	入居者の生活スタイルを尊重しているが、職員側の都合や一日の支援計画を優先してしまう場面も見受けられる。	毎日の生活を、入居者と相談しながらおこなう。	・一日の過ごし方を見直す ・職員のペースで動かない(動き出しはご本人から)を徹底する。	12ヶ月
4	49	洗濯物や調理などの家事は、行ってはいるが一人、一人が役割や楽しみをもち生活できていない。	余暇活動の充実や、ご利用者様のできる事や楽しみをみつける。	・担当職員主導により、もう一度生活歴をみなおす。そして、したい事ややりたい事の聞き取りを行う。 ・ご家族とも協力しながら、入居者がいきいきと生活できるよう工夫する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。